那珂川緊急治水対策プロジェクト

～多重防御治水の推進～

【令和2年度版】

○令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した那珂川水系において、国、県、市町が連携し、
「那珂川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、県、市町が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。

①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】　②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和２年度は、決壊箇所の本格的な災害復旧や河道掘削等の改良復旧、防災集団移転促進事業、簡易型河川監視カメラの設置、越水・決壊検知機器の開発などを進めていきます。

■河道・流域における対策

全体事業費　約665億円【国:約521億円、県:約144億円】
　災害復旧　約219億円【国:約101億円、県:約117億円】
　改良復旧　約447億円【国:約420億円、県:約 27億円】
事業期間　令和元年度～令和6年度
目　　標　令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
対策内容　河道掘削、遊水地、堤防整備　等

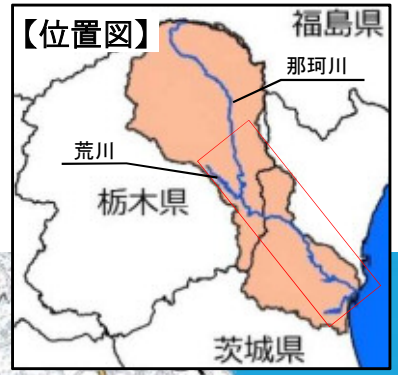
※県の改良復旧事業等の新規事業採択により事業費が追加されました。
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

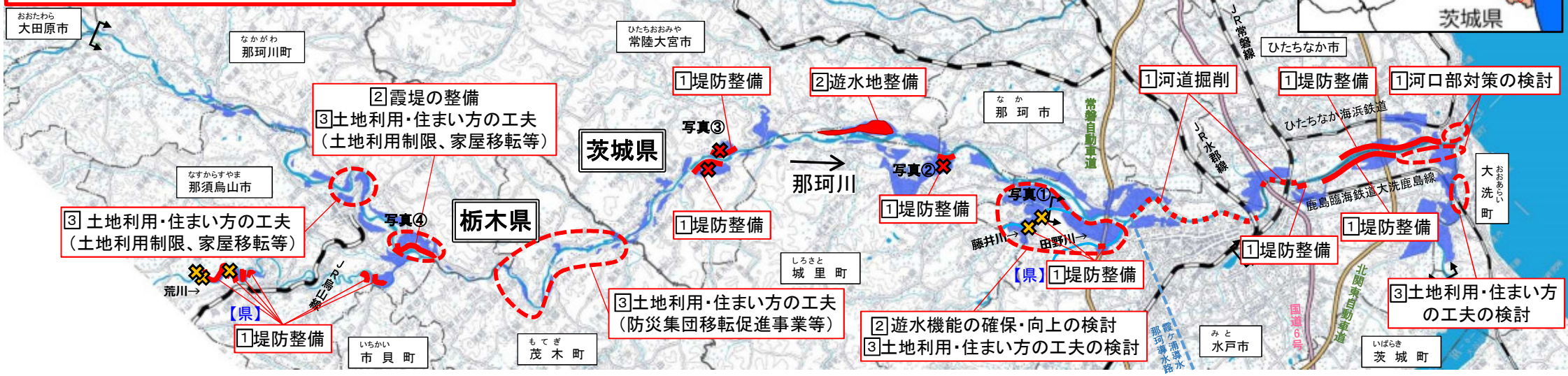
■河道・流域における対策

【土地利用・住まい方の工夫】
・浸水が想定される区域の土地利用制限
（災害危険区域の設定等）
・家屋移転、住宅の嵩上げ
（土地利用一体型水防災事業、防災集団移転促進事業等）
・高台整備　等

■ソフト施策

・越水・決壊を検知する機器の開発・整備
・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
・ダム操作状況の情報発信
・台風第19号の課題を受けたタイムラインの改善
・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
・防災メール、防災行政情報伝達システム、防災行政無線等を活用した情報発信の強化
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施　等

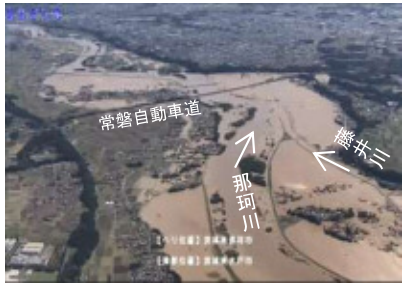




写真④浸水被害状況（那珂川左岸61.0k）

写真③堤防決壊状況（那珂川左岸40.0k）

写真②浸水被害状況（茨城県那珂市、城里町）



写真①浸水被害状況（茨城県水戸市）

凡例
- 堤防決壊箇所（国）
- 堤防決壊箇所（県）
- 浸水範囲
- 大臣管理区間

※計数及び対策については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある